



ネットトヨタ三重&からっとくらぶ編集室 presents

部活応援隊が行く!!

大道館道場 編

大道館道場

柔道を通して心と体を育み、70年の歴史を繋ぐ

大道館は熊野市井戸町にある柔道場です。現監督である前田武寛さんの祖父が昭和28(1953)年に創立し、70年以上の歴史を誇ります。現在は幼児から小学生を中心に中学生、社会人と幅広い層が稽古に励んでいます。



Q1 柔道の魅力は？

A1 (川口さん) 相手を投げられたときが一番楽しい。ガッツポーズが出ます。

(中)副キャプテン 大川 琉奕翔さん (おおかわるきと)
(右)副キャプテン 前田 いろはさん (まえだいろは)

Q4 みんなの得意技と今の課題は？

A4 (川口さん) 相手を前に投げる「支え釣り込み足」です。
(前田さん) 足技の「内股」です。

(大川さん) 投げ技の「体落」としです。

(前田監督) 「相手より早く動くための思考」を課題の二つに練習しています。

二次元コードを読み取ると大道館道場のコメントが見られます。



Q2 キャプテンとして心がけていることは？

A2 (川口さん) 率先して大きな声を出して、練習を盛り上げる事です。

キャプテン 川口 蒼仁さん (かわくち あおひと)

Q3 現在の目標は？

A3 (川口さん) 5月に開催される三重県少年柔道選手権大会などの個人戦で成績を残し、「三重県強化選手」に選ばれることが大きな目標です。



Q6 どんなことを意識して練習されていますか？

A6 (前田監督) 限られた練習時間の中で、子どもたちが飽きずに取り組めるよう工夫を凝らしています。多角



監督 前田 武寛先生

Q7 道場での練習を通してみんなに学んでほしいことは？

A7 (前田監督) 最も重視しているのは、「挨拶・返事・靴(スリッパ)を揃える」といった、日本人として当たり前の礼儀作法を身につけることです。稽古は厳しい時もありますが、継続は力なりです。辞めるのは簡単ですが、続けることに価値があると話し、子どもたちに自信を持たせる指導を行っています。

的なトレーニングとして柔道の技術だけでなく、スポーツリズムトレーニングの「リズムジャンプ」や紐を取り合「フット取り」、ボール遊びなどのACP(アクティブ・チャイルド・プログラム)を導入し、楽しみながら運動能力を高めています。

